

岡山県における受検～受診～受療に至る効果検証と質向上のための

相談員・肝炎医療コーディネーターのあり方に関する研究

研究分担者 池田 房雄 岡山大学病院消化器内科講師

研究要旨

【背景】岡山県では肝炎医療コーディネーターの対象を愛育委員に広げ、肝炎啓発に協力してもらうことを計画した。【方法】2018 年度は愛育委員を対象に肝炎啓発や肝炎検診受検の必要性を説明、肝炎ウイルス検査を同時に実施した。検査陽性者には直接電話連絡し、肝臓専門機関の受診勧奨を行った。【結果】2018 年 12 月までに県内 3 市町計 4 回の肝臓病教室を開催した。研修参加者 296 名のうち肝炎ウイルス検査を 234 人が受検した。6 名で HCV 抗体陽性と判明し、5 名は 1 ヶ月以内に肝臓専門医療機関を受診し、1 人は抗ウイルス治療を予定している。【結語】愛育委員対象肝臓病教室で肝炎啓発や肝炎検診の必要性の認知が高まった。愛育委員対象の肝臓病教室開催は地域住民に近い肝炎医療コーディネーターの養成となり、肝炎ウイルス検査受検率 100%を目指すためには大変有用である。

A．研究目的

岡山県では 2011 年からの 5 年間で医療機関や市町村の担当者、職域の健康管理担当者を対象として約 300 人の地域肝炎対策サポーターを養成した。

平成 29 年 4 月厚生労働省通知の肝炎医療コーディネーターの養成及び活用において、医療機関や行政機関以外にも肝炎医療コーディネーターを配置することが望ましいとされている。

そこで、岡山県市町村の肝炎ウイルス検査の受検率を高める方策として地域住民に近い存在の愛育委員に肝炎医療コーディネーターの対象を広げ、肝炎啓発に協力してもらうことを計画した。

B．研究方法

2017 年度、岡山県愛育委員理事会で肝炎啓発事業への協力依頼を実施。2018 年度は愛育委員を対象とした肝臓病研修会を開催し、肝炎普及啓発や肝炎検診受検勧奨の必要性を説明した。また、肝炎ウイルス検査を同時に実施した。検査陽性者には直接電話連絡し、肝臓専門機関の受診勧奨を行った。2019 年度は愛育委員の肝炎医療コーディネーターとしての効果を検証した。

（倫理面への配慮）

当院倫理審査承認済

C．研究結果

2018 年度は 12 月までに県内の 3 つの市

町の地域愛育委員研修会で計4回の肝臓病教室を開催した。研修参加者は296名。また、肝臓病教室開催時に肝炎ウイルス検査を同時に行い、234人、79%が受検した。検査陽性者はHCV抗体陽性者が6名、HBs抗原陽性者はいなかった。HCV抗体陽性者のうち5名は陽性結果が判明して1ヵ月以内に肝臓専門医療機関を受診し、1人は抗ウイルス治療を予定している。

開催日時	場所	企業名	対象	研修参加	検診受検	HBs抗原	HCV抗体
1 5月12日	美作市	愛育委員研修会	愛育委員	98	76	0	1
2 6月12日	岡山市	建設コンサルタン	一般社員	42	30	1	0
3 7月31日	岡山市	製薬会社	一般社員	20	16	0	0
4 9月18日	岡山市	製薬会社	一般社員	7	6	0	0
5 10月18日	美作市	社会福祉協議会	一般住民	52	37	0	0
6 10月30日	福山市	介護老人保健施設	介護職員	46			
7 11月7日	岡山市	金属加工業	一般社員	40	35	0	0
8 11月19日	加賀郡	地域政委会	愛育委員	82	71	0	1
9 11月28日	津山市	商立支援説明会	企業健康管理者	97	46	1	0
10 12月6日	倉敷市	商立支援説明会	企業健康管理者	73	58	0	0
11 12月8日	加賀郡	愛育委員研修会	愛育委員	81	56	0	4
12 12月20日	岡山市	商立支援説明会	企業健康管理者	218	89	0	1
13 12月21日	瀬戸内市	愛育委員研修会	愛育委員	35	31	0	0
				891	551	2	7

D. 考察

愛育委員は自分たちの市町村を健康で明るく住み良い地域にするため行政と協力しながら活動している健康づくりボランティアの全国組織であり、県知事から委嘱されている。赤ちゃん訪問など母子保健委員の役割や禁煙推進の他に、生活習慣病予防の推進として健診受検勧奨、健診の手伝い、がん検診の勧誘、感染症予防のための普及啓発などが役割である。県内の愛育委員は1.8万人、住民100人あたり1人存在する。愛育委員を対象とした肝臓病教室を開催することで肝炎普及啓発や肝炎検診受検勧奨の必要性の認知が高まった。

E. 結論

愛育委員対象の肝臓病教室開催は地域住民に近い肝炎医療コーディネーターの養成となり、肝炎ウイルス検査受検率100%を目指すためには大変有用である。

F. 研究発表

1. 論文発表

(1) 難波志穂子, 池田房雄ほか 職域での

出張肝臓病教室と同時開催の肝炎検診の意義 肝臓 2017;58:304-306.

(2) 難波志穂子, 池田房雄ほか 岡山県地域肝炎対策サポーター育成後の活動実態調査 肝炎医療コーディネーター活動と部署異動 肝臓 2018;59:625-632.

2. 学会発表

(1) 池田房雄, 難波志穂子ほか B型、C型肝炎患者拾い上げの取り組み就労者の肝炎検診受検率向上と検査陽性者の徹底した肝臓専門機関受診を目指した職域へ出張しての肝臓病教室と肝炎検診同時開催の試み 肝臓学会大会 2017

(2) 難波志穂子, 池田房雄ほか 地域肝炎対策サポーターのニーズから肝疾患診療連携拠点病院としての役割の検討 肝臓学会大会 2017

(3) 山下美穂, 難波志穂子, 池田房雄 肝疾患診療連携拠点病院の役割の認知度調査 日本医療マネジメント学会 2018

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得なし

2. 実用新案登録なし

3. その他なし

